

都市再生整備計画 事後評価シート

香川駅周辺地区

平成26年 3月

神奈川県茅ヶ崎市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	茅ヶ崎市		地区名	香川駅周辺地区			面積	184ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	1,447百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	事業名 香川駅西口駅前広場整備事業、市道0111号線道路整備事業、市道0205号線道路改良事業、(仮)香川自転車駐車場整備事業										
		提案事業	—										
				事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	—			—			—				
		提案事業	—			—			—				
	新たに追加し た事業	基幹事業	寺尾橋架替事業			関連事業から基幹事業に変更			影響なし				
		提案事業	計画進行管理			事業評価を追加			影響なし				
	交付期間 の変更	当 初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		—						
		変 更	変更なし										
	2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値	目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
指標1		香川のまちの満足度	%	40	H20	50	H25	モニタリング	54	○	あり なし	香川駅西口駅前広場や市道0111号線などの道路整備により、歩行者と車輛が分離され、安全で快適な交通が可能となった。	平成27年7月
指標2		自転車駐車場の混雑度の緩和	%	110	H20	90	H25		43	○	あり なし	香川駅自転車駐車場の整備により、適正な利用台数となり、自転車駐車場の混雑度が緩和された。	平成27年7月
指標3		地区内の移動時間	%	100	H20	90	H25		62	○	あり なし	市道0205号線の拡幅により、対面交通が可能となり、道路交通が円滑になった。また、寺尾橋の二車線化により、香川地域の交通ネットワークが向上した。	平成27年7月
指標4		香川駅の乗車人員の増加	人	4,586	H19	4,600	H25		4,937	○	あり なし	駅周辺の整備により、道路交通が円滑になり、歩行者の安全性の向上とともに、車輛の交通が円滑になったため、電車利用が増加した。	平成27年7月
指 標		単位	従前値	目標値		数 値		目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期		
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	—					モニタリング						
	その他の 数値指標2	—											
	その他の 数値指標3	—											
	その他の 数値指標3	—											
4)定性的な効果 発現状況	・自治会説明会にて、市道0111号線について、歩道整備及び歩行空間の整備により、大変歩きやすくなったとの意見があった。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	—					都市再生整備計画に記載し、実施できた						
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加 プロセス	香川駅周辺地区まちづくり検討会					都市再生整備計画に記載し、実施できた						
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● 今後も地域住民と市とが協働で、便利で快適なまちづくりの実現を目指す。		
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり 体制の構築	香川駅周辺地区まちづくり検討会					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● 今後も地域住民と市とが協働で、便利で快適なまちづくりの実現を目指す。			
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

香川駅周辺地区(神奈川県茅ヶ崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標:安全・安心・快適で魅力あふれる市街地の再生 目標1:「香川のまちの満足度の向上」 目標2:「自転車駐車場の混雑度の緩和」 目標3:「地区内の交通移動性の向上」		香川のまちの満足度	単位: %	40 H20	50 H25	54 H25
		自転車駐車場の混雑度の緩和	単位: %	110 H20	90 H25	43 H25
		地区内の移動時間	単位: %	100 H20	90 H25	62 H25
		香川駅の乗車人員の増加	単位: 人	4,586 H19	4,600 H25	4,937 H24
道路事業(市道0111号線道路整備事業) ＜整備前＞		道路事業(市道0205号線道路改良事業) ＜整備前＞				
						
＜整備後＞		＜一部整備中＞				
						

地域生活基盤施設((仮)香川自転車駐車場整備事業)
＜整備後＞



まちの課題の変化

- ・市民が安全・安心・快適に暮らせる生活環境づくりが課題であったが、地域の主要な道路である市道0111号線、市道0205号線、寺尾橋の道路整備により、道路ネットワークが充実したとともに、拡幅や歩車分離などの道路整備により、歩行者・自転車の安全性が向上し、地域内の移動が便利になった。
- ・北の拠点として相応しい市街地づくりが課題であったが、香川駅西口駅前広場の歩道設置や香川駅自転車駐車場の整備により、駅周辺の利便性が向上した。
- ・しかし、整備が遅れている香川駅西口駅前広場整備や文化資料館移転事業の推進により、北の拠点としての機能の充実に努める。
- ・本計画の整備箇所以外の西側及び東側の市道0205号線の拡幅や下水道整備(雨水)を推進し、更なる生活環境の向上を図る。

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

- 更なる都市基盤の整備
 - ・便利で快適なまちづくりの実現のため、香川駅周辺地区まちづくり検討会からの「香川駅周辺まちづくりの提案」をもとに、更なる都市基盤整備に努める。
 - ・本計画以外の道路整備に努め、道路ネットワークを強化し、生活道路への通過交通の流入を防ぐ。
- 北の拠点としての市街地づくり
 - ・都市基盤の充実とあわせて、駅周辺の活性化と賑わいの創出のために土地利用誘導の検討を行う。